

2024年度 青桐会 大学との意見交換会 追加質疑応答

【就職関連】	質問	回答
1	<p>準備不足を心配する保護者が多いと感じている。公務員試験対策の拡充に努めているようであるが、学生や保護者にどのように周知していこうと考えているのか教えていただきたい。</p>	<p>公務員への就職を希望する割合は6%~7%で推移している。1, 2年生には入学時に配布する「キャリアサポートブック」でダブルスクールや公務員講座について案内している。2024年度、希望する公務員職種については行政職が74%、公安職が26%であり、実際の進路は行政職が72%、公安職が28%であった。2024年度卒の公務員就職実績者は162名おり、国家公務員行政職が9名、国家公務員専門職が8名、県庁等は14名であった。前年からいずれも数を伸ばしている。</p> <p>現在、民間と同じSPI試験で受験できる市役所等があるが、2026年卒からは東京都特別区や警視庁でもSPI試験で受験できるようになるという情報がある。筆記試験より人物選考に重きを置く傾向になったということである。大東ではダブルスクールと公務員講座を外部にまとめて委託をしている。文系ならでの弱い部分を補強する講座を検討しており、2025年からリニューアルする予定である。</p> <p>公務員支援デスク（仮称）を板橋校舎と東松山校舎に設置し、公務員講座の受講者のみならず、公務員を希望する学生を支援できるように計画している。</p> <p>インターンシップは今年度キャリアセンター経由で60名の応募があった。その内、実際に33名がインターンシップを行った。意識の高い学生は1年生の時からインターンシップへの参加を希望し、実際、部活動で週6日活動しながら、低学年の時から準備を進め、埼玉市役所に合格した方がいた。公務員の合格体験談をオンラインで公開しており、希望する学生は視聴可能となっている。</p>
2	<p>大学では県と就職に関する協定を締結されているようであるが、締結するのはどのような手順なのか。</p>	<p>学生の多い県から順に締結している状況である。締結すると、その県内の高校に大東大の存在が周知されるため、入学の入口としても有効であるが、全ての県と一気に締結するというのはできないため、順に締結しており、2024年度は福井県と石川県から締結依頼が直接届いている。12月中に県の担当者と打ち合わせし、今年度中の締結に向けて進めていく予定である。</p>

【教務関連】	質問	回答
1	<p>毎年同じ質問が繰り返されているが、人数制限で履修出来ない科目があるようである。大学側で対策をとっていただいているかと思うが、どのように対策したのかが見えてこない。</p> <p>また、成績表をWebで見られるようにしていただいたが、紙で成績表が欲しいという保護者の方がいる。有料でも良いので、今までと同様に希望者には紙で出せるようにしていただきたい。</p>	<p>2024年度は教室の定員の都合で27科目を抽選とした。抽選する場合は、他の収容定員の多い教室がないか確認し、ない場合に抽選を実施している。抽選に漏れてしまった場合、希望する授業が別学期、別曜日、別時限で実施されていないか「DBポータル」の履修登録画面で確認できるが、まず担当教員に確認してみることをお薦めしている。授業内容は担当教員のオリジナルであり、別教員が同じ授業内容を教授することはできない。</p> <p>またPCルームを使った授業の場合、パソコンの設置台数に限りがあるため、抽選をせざるを得ない。</p> <p>加えて、実習や活動を伴う授業で、特殊な設備が設置されていたり、適切な履修人数を設定する必要があると教員が考える授業については人数を設定し、抽選としている。</p> <p>高学年を優先的に当選するようにしているが、定員を超える申し込みがあった場合は、高学年であっても履修の保証はできない。抽選結果は学生本人に連絡している。抽選に関する広報をもっとしていきたいと思う。</p> <p>成績表を紙で欲しいという要望に対しては、持ち帰って検討したい。</p>
2	<p>受けたい授業が2, 3時限目と連続でやっている場合、「どちらの時限でもよい」というような希望の出し方が出来れば、授業を受けられる可能性があると思う。</p> <p>またパソコンや実習を伴う授業の場合は、今までの希望数に合わせて大きい教室を確保したり、パソコンの台数を増やすなどの具体的な解決策をとっていただきたい。</p> <p>必修科目は抽選がなく受けられるようだが、2年生で必修科目を落としてしまった場合、その科目のために東松山校舎に通うのは大変だと思う。また、必修科目を落とした時の連絡がもっと早く保護者にもいただけたらありがたい。</p>	<p>履修状況の管理は大学生である本人に任せている。教務事務室の窓口では随時質問を受け付けているため、学生には事務室を積極的に利用して欲しいと呼びかけていきたい。設備の関係で抽選をせざるを得ない状況が多く、最大限の努力をしているということをご理解いただきたい。</p>

【教職関連】	質問	回答
1	教員免許の取得のための必須科目に抽選で漏れてしまい、相談があった件数や内容について教えていただきたい。また現代経済学科で教員免許を取る場合はどのようにしたらよいのか教えていただきたい。	データがないため、相談件数については答えられない。 現代経済学科は教職課程を置いていない。ただ、経済学部社会経済学科に教員免許過程を置いているため、副専攻制度を使い、社会経済学科の授業を受けることで副免許という形で教員免許取得を目指すことが可能である。2年生の時にガイダンスを行い、副免許希望者に免許の取得方法について説明している。副免許を目指すには所定の学内審査に通る必要がある。
【学生生活関連】	質問	回答
1	遠方から進学する学生が頼れるところはないか。	大学に相談できるように垣根を低くして、様々な窓口を設けている。「よろず相談」にはカウンセラーがいる。ゼミの教員との関係を深くすることも大事である。夜間対応は17時までと回答しているが、その時間を過ぎても対応している。警備は24時間空いているため、本当に困った時はそこを頼って欲しい。
2	SNSや投資、闇バイトなどの目に見えにくい問題が出てきた。どのように対応していくのか。	DBポータルで周知したり、1学年時の基礎教育で問題提起しているが、新たな事件が次々に発生するため追いかけている状態である。 11/7に全学生に闇バイトに対する注意喚起をDBポータルで行った。今後も注意喚起を行っていききたい。
【施設設備関連】	質問	回答
1	東松山校舎の60周年記念講堂のトイレが和式タイプが多いのが気になる。	60周年記念講堂の和式トイレについてはぜひ改修したいと考えており、予算積算をして、予算申請をしている。予算申請が通るかは分からないが、しっかりと対応していきたい。便器だけでなく、内装、タイル張りも変えるように予算積算している。
【スポーツ関連】	質問	回答
1	ラグビー部、剣道部の寮の改築、および食事メニューの改善について進展があれば伺いたい。	ラグビー部は新しい寮についての情報を収集し、関連部署に相談している状況である。剣道部の寮については指導者に意見を伝えて、今後整備がされるように進めていく。食事面に関しては定期的に主将、主務会議や女子アスリート研修会を行ったり、講師を学内の教員にお願いし、栄養面についての知識の研修を実施している。寮の食事の充実と各自で栄養を補給できるように対応していく。 他の部活動の寮に関しても、部長、監督と情報交換しながら、少しでも良い環境になるように努めていきたい。

【留学関連】	質問	回答
1	<p>オーストラリアのグランドコーストに海外事務所が11月に開設されたと思うが、学生の留学支援について教えていただきたい。また、ホームページに詳細が掲載されていないが、今後掲載されるのか。</p> <p>今年の6月に1年間の留学をしたいと、国際関係学部の学生が東松山校舎の事務室に相談に行ったが、「単位が足りないため留学が出来ない」と言われてしまった。後日、保護者が国際交流センターの窓口に出向き確認したところ、「国際関係学部の学生であれば、単位の振替ができる」と聞いたため、9月の協定校試験を受け、教授会を経て、留学ができることになった。その後、再び東松山の事務室に相談に行ったところ、やはり「単位が足りないから留学できない」と言われた。結局、ゼミの先生に相談して留学できることになったが、事務室の対応によって諦めてしまう学生もいるのではないか。</p>	<p>今回開設された海外事務所は、大東大の卒業生が15年以上、現地で留学のエージェントをやっているため、その方に窓口になっていただいている。支援内容はオーストラリアに留学を希望する学生からの相談、手続きである。</p> <p>オーストラリア海外事務所の側に提携校のグリフィス大学があり、毎年一定数の学生が留学している。パスポートの紛失や、急な体調不良の時なども支援いただいている。</p> <p>大学のホームページでオーストラリア事務所について公表しているが、今後、学生や保護者の要望に応じて拡充していきたいと考えている。「留学ができない」と事務室で対応したことに関しては、部署で原因を究明し、同じことがないように徹底したい。単位振替については学部で行っており、所属の学部事務室と連携して行っている。おそらく所属の学部事務室と国際交流センター事務室で情報共有が上手くできていなかったために生じた問題だと思う。留学が出来ない理由が何であったのか、留学をすることで4年で卒業できなくなるということなのか、留学中に必修科目を国内で取る必要があったのか、などを確認し、適切な留学の指導を行っていききたいと思う。</p>
2	<p>語学研修の費用が高い。あおぎり募金奨学金を検討する前にすぐに大学から請求書が送られてきて、考える余裕もないままお金を払わざるを得なかった。短期の語学研修でも奨学金がでるようだが、昨今の経済情勢を鑑みて、金額をあげていただくなど検討していただけの余地はあるのか。</p> <p>中国の大学の寮の環境が悪く、害虫が徘徊していたようである。この環境を嫌がる学生もいると思うので、改善していただけないか。</p>	<p>コロナ禍が終わり、留学に行ける状態になったが、物価高や円安の影響で、1.5倍～2倍程度、留学に費用がかかるようになってしまった。経済的支援のため、協定校に留学する学生には一律3万円を支給している。また、寄付金を原資とした奨学金を全員に支給できればよいのだが、原資に限りがあるため、成績の基準を設け、6万円～8万円支給している。費用を抑えるため、留学期間を2週間や1週間に絞ったプログラムを提供できないか検討している。</p> <p>害虫問題に関しては、国際関係学部の現地研修先でのことと思われるが、次年度以降もプログラム先として検討している場所だと考えられるため、情報を共有していきたいと思う。</p>

【広報関連】	質問	回答
1	大東サポーターズの内容について詳しく知りたい。	卒業生、地域の皆様に向けて情報を発信しているLINEアカウントである。保護者の皆様にもぜひ登録していただきたい。写真やクラブ活動の報告記事、高橋学長の「学長タイムズ」の記事を見ることができる。大学のホームページを積極的に見ることなく、大学の今が見られるようになっている。
2	「Daito Eyes」の記事が非常に面白く、この記事を見て大東大を受験しよう、この先生の授業を受けてみたいと考える学生がいると思う。また、オープンキャンパスや大東祭の内容についても掲載されており、学生生活を保護者が垣間見えるきめ細かい内容である。もっと「Daito Eyes」をホームページの目立つ所に配置しても良いのではないか。	ホームページはあらゆる情報を載せなければならないため、階層が深く、見にくい所があるため、ホームページをリニューアルしたいと考えている。入試のシーズンに高校生がアクセスするのは圧倒的にスマートフォンからであり、ホームページをスマホ版に変換したのを見ていただいているが、どこまでスクロールして見ていただいているかはわからない。
3	遠方から東京に進学するのは不安があったが、オープンキャンパスに参加して、大東大に通いたいと思った。オープンキャンパスで体験したことを地元の友達に話しても、伝わらないことが多かった。Zoomなどで大学を紹介する機会を設けていただけたらと思う。	予算があれば、新聞広告、雑誌広告、交通広告を打って、大学のPRすることは可能だと思うが、限りある予算の中で効果的にPRするためにWeb広告を使っている。競合する大学を受験生が見た時に大東大が表示されるようにしたり、スマホの位置情報を利用した広告を入れたり、「桐門の翼奨学金」試験のポスターを屋根のある地方のバス停に1週間～2週間程度掲示する広報展開をするのが予算の範囲内でできることである。学生数の多い関東周辺の高校訪問をして直接アピールしたりもしている。ラグビーや箱根駅伝などは広報に効果があるため、青桐会の応援には感謝している。
4	就職協定を県と結んでいると、高校に案内が来る。県庁自ら動くことはできないが、大学側から声をかけていただければ動けると言っていた。キャリアセンターと入学センターが手を組めば就職協定を県と結ぶように動くことが可能なのではないか。西日本では大東文化大学の広告を見ることはまずなく、口コミで受験者は受験を決めている。	検討する。

【その他】	質問	回答
1	「TABETEレスキュー直売所」の採用基準について詳しく教えていただきたい。	「TABETEレスキュー直売所」の運営に携わる学生は現在24名。年度の初めに採用面接を学生が行っている。6団体に関わるプロジェクトであるが、プロデュースをしている「(株)コークッキング」にインターンシップとして雇われている形である。企業の人事部のプロが採用を決めるのではなく、学生が採用を決めているため、公平かどうかは疑問が残るところである。不採用の理由を(株)コークッキングに尋ねても、個別の回答は出来ないとの返答であった。採用の際、アルバイトではなく、どちらかというボランティア活動であることの意味確認をしっかりと行っていること、勤務場所が「森林公園」「池袋」であることを確認しているようである。